



那須中学校 3年2組
佐藤 滉介さん

「身近な地方自治」

とても身近で、自分が何か協力できるのではないかと考えることができました。

議会を傍聴して分かったことは、本当に自分たちの生活にとって身近なところにあることについて話し合っているということ。僕は今まで、議会と聞くと、自分とはとても遠く、自分ではどうにもできないような問題について話しているのだと思っていました。しかし、授業での先生の話や実際に議会を傍聴してみても、身近で自分が何か協力できるのではないかと考えることができました。

社会やこの那須町にとって僕ができることはとても少なく小さなことだとは思いますが、何らかの形で貢献したいと

思いました。これから成長して大人になっていき、この自分が育った那須町が、今より少しでも良い方向に向いて行ければと思っています。



黒田原中学校 3年1組



黒田原中学校 3年1組
大島 龍さん

「私も町民の一員として」

私達も那須町の一員として、町の未来について関心を深めたいと思います。

私は、この度初めて議会傍

聴に参加させていただきました。今まで、議会とはどこでどのように行われているのか知りませんでした。今回傍聴した事で知ることができました。

一般質問の内容は、私達にとつてとても身近な事でした。ノロウイルスについての質問は、小中学生を守るための具体的な方法などについてでした。

また、交通安全対策についても、やはり小中学生を思いやっの質問となっていました。私達は陰ながら町に支えられていると改めて感じることができました。

これから私達も那須町の一員として町の未来について関心を深めたいと思います。

心な深めたいと思います。

心な深めたいと思います。

**進む高齢化で、
求められる若い力。
早い時期から政治や
選挙に関心を！**

18歳選挙権に期待を！

平成27年6月公職選挙法等の一部を改正する法律が公布され、選挙権年齢が満20歳以上から満18歳以上に引き下げら

れ、平成28年6月19日から実施されます。

18歳・選挙権年齢の引き下げは、少子高齢化の進む日本において、若い世代ができるだけ早く未来の日本や地方の在り方などを決める政治に関与してもらいたいため、社会の構成員として活躍できるよう期待がされているものであります。

そこで、町議会としては、町の将来を担う若い世代に早くから自分たちの町の政治に関心を持っていただくために、議会傍聴により地方公共団体の仕組みや役割を学習し「自分たちの生活と政治(議会の関わり)」について理解するとともに、町の将来を考える機会のある場としていただけるよう願っています。

また、町教育委員会でも選挙管理委員会と連携し18歳選挙権に向けた主権者教育の取り組みを実施しています。

平成26年に社会科の授業で中学校の生徒が模擬選挙の体験を行い、早い時期から政治や選挙に関心をもちてもらおうと取り組んでいます。

平成26年に社会科の授業で中学校の生徒が模擬選挙の体験を行い、早い時期から政治や選挙に関心をもちてもらおうと取り組んでいます。



模擬選挙の投票をする東陽中学校3年生・黒田原中学校3年生

3月定例会では、那須高校生の議会傍聴を予定しています。